

# 大阪市立西中学校 第1回進路指導説明会

## 進路決定に向けて大切なこと

令和3年 6月11日(金)  
校長 松田正也



# 本日の説明内容

- [1] はじめに [ 3分 ]
- [2] 卒業後の進路先 [ 15分 ]
- [3] 学校生活にかかる費用 [ 2分 ]
- [4] 高校入試について [ 15分 ]
- [5] 最後に [ 10分 ]

# [1]はじめに 中学卒業後の進路

15歳 中学卒業時 進学率99.8%

高校進学 昼間の学校へ…………… 94.1%

通信制定時制、支援学校、専修学校など…………… 5.9%

高校中退率 1.3%

18歳(ころ) 高校卒業時

大学短大進学…61.8%

専門学校…21.1%

就職…11.2%

大学院進学……11.1%

就職……………74.2%

未定・アルバイト…10.6%

大学中退率……2.65%

高卒就職内定率…約99%

3年以内の離職率…40.8%

令和元年度 文部科学省「学校基本統計」より

赤字は、平成26年度 文部科学省調査「学生の中途退学や休学等の状況について」より

学校を卒業後、どのように社会で活躍できるかが大事。

目先の「進学先」ではなくて、「将来を見据えた選択」を！

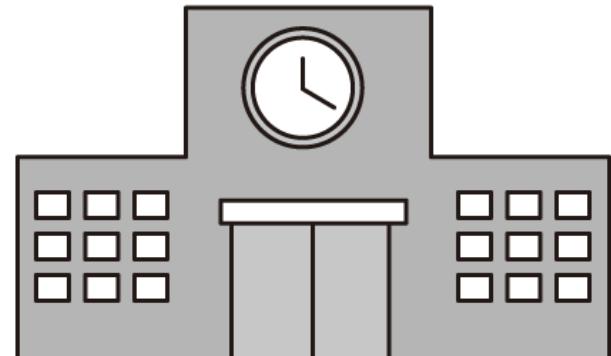
## [2] 中学卒業後の進路先

- ・府立高校(大阪市立)
- ・市立高校  
(堺市、東大阪、岸和田)
- ・私立高校
- ・国立高校・府大高専
- ・支援学校
- ・専門(専修)学校
- ・就職(0.2%)

公立高校

約3割が  
行きます

高校進学者の  
約7割が行きます



# 令和2年度 西中学校の進路先

進路先	合計	男子	女子
公立全日制高校	52	25	27
公立定時制高校	1	1	0
公立通信制高校	0	0	0
私立全日制高校	32	11	21
私立通信制高校	2(4)	1(3)	1(1)
支援学校	0	0	0
高等専修学校	5	4	1
就職	0	0	0
合計	92	42	50

# 高校を分類すると…

## 学ぶ時間帯で分類

- ☆全日制の課程
- ☆多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部

- ☆夜間定時制の課程
- ☆多部制単位制Ⅲ部
- ☆昼夜間単位制

- ☆通信制の課程

## 学ぶ内容で分類

### ◇普通科

### ◇専門学科

工業 商業 農業  
体育 國際 芸術  
文理学科 等

### ◇総合学科

# 普通科の時間割

## 普通科高校

1年	現国	言語	地理	歴史	数学Ⅰ	数学A	物理	体育	保健	芸術	英語	英表	家庭	総合的な探求	ホームルーム
2年	国語	古典	世界史	日本史	公共	数学Ⅱ	数学B	化学	芸術	体育	保健	英語	英表		
3年	国語	古典	世界史	日本史	地理	数学演	数学Ⅲ	体育	英語	英表	選択	国語	英語	理科	社会

## 普通科専門コース制

1年	現国	言語	地理	歴史	数学Ⅰ	数学A	物理	体育	保健	芸術	英語	英表	家庭	総合的な探求	ホームルーム
2年	国語	古典	世界史	日本史	公共	数学Ⅱ	化学	芸術	体育	保健	英語	情報	コース		
3年	国語	社会	数学	体育	英語	コース									

# 専門学科の時間割

1年	現国	古典	公共	数学I	数学A	物理	体育	保健	芸術	英語	家庭	専門	ホームルーム
2年	国語	日本史	世界史	数学II	生物	化学	体育	保健	英語II	情報	専門	専門	総合的な探求
3年	国語	日本史	世界史	数学	体育	英語	選択				専門	専門	

# 総合学科の時間割

総合学科の高校

1年	現国	言語	公共	歴史	数一	科学	体育	保健	芸術	保健	英語	家庭	情報	選択	総合的な探求	ホームルーム			
2年	世界史 日本史	生物	体育	保健	選択														
3年	世界史 日本史	体育	選択																

エンパワメントスクール（淀川清流・成城・西成・長吉・箕面東・布施北・和泉総合・岬）

1年	国語※	数学※	英語※	公共	理科	芸術	体育	保健	情報	選択	エンパワメントタイム	総合的な探求	ホームルーム
2年	国語	古典	世界史 日本史	数学一	体育	理科	保健	芸術	英語	選択	エンパワメントタイム		
3年	国語	世界史 日本史	数学	理科	体育	英語	選択				エンパワメントタイム	9	

# 学科以外の各学校の特徴

【授業時間】	45分 50分 65分
【学 期】	2期制 3期生 4期生
【定期考查】	4回 5回 その他 定期考查のない科目もある
【土曜授業】	全員、希望者、その他
【その他】	クラス分け コース分け 下校時間、校則、 学校によって全く違う
【部活動】	修学旅行 文化祭 体育大会
【学校行事】	制服、LHR、食堂、海外研修、補習、自習室 など・・・

# 私立学校の全体的状況

## ★全日制高校（共学73校、男子校5校、女子校18校）

普通科、ITビジネス科、理数科、国際科、体育科、英語科、表現教育科、音楽科、衛生看護科、看護科、調理科、電子工業科、調理製菓科、福祉科、機械工学科、電子機械工学科、電気工学科、電子工学科、商業科、

たくさんのコースを設定している学校が多い  
定員はあるが、入学者数は毎年変わる学校が多い

## ★通信制高校・・・12校（大阪府認可の学校）

登校、自宅など希望に合わせた学習スタイルを提供

スクーリング（短期間の登校）がある

※他にも広域通信制高校などあり（N学園など）

## ★高等専修学校・・・技能連携制度で通信制高校の単位として認定。

これにより高卒資格を得られる

# 公立学校の全体的状況

## ☆全日制高校 151校（校地1校として）

普通科、普通科コース制、総合学科、文理学科、工業に関する学科、商業に関する学科、音楽科、体育科、福祉ボランティア科、国際文化科、国際科学科、グローバル科、演劇科、芸能文化科・・・・

## ☆定時制高校 21校・・・通信制との併修で3年で卒業可

夜間だけでなく 昼間定時制(大阪わかば) 昼夜間単位制(中央)も

## ☆通信制高校 1校・・・桃谷高校

私立の通信制高校より、登校機会が多い。

## ☆自立支援コース

## ☆支援学校

共生推進教室 高等部職業コース 高等支援学校

# [3] 学校生活にかかる費用

## ★公立高校 (年額)

授業料	118,800円
入学金	5,650円
制服体操服等	約10万円
修学旅行費用	約10万円
学年諸費	約20,000円

910万円以下は無償

※標準的な世帯ですので、詳細は事前に相談して確認してください。

公私ともに、奨学のための支援金、大阪府育成会の奨学金、民間の奨学金などあります。

## ★私立高校 (年額)

授業料	約 600,000円
入学金	約 200,000円
制服等	学校ごとに違う
修学旅行費用	学校ごとに違う
学年諸費、施設費など・・・	

910万円以下は48万円

800万円以下は20万円

590万円以下は無償

※標準的な世帯ですので、詳細は事前に相談して確認してください。

※支援金が支払われるのは秋ですので、それまではいったん授業料（2期まで）は納めてください。3期分で返金・相殺されます。

なお、学校によっては、猶予等の措置もあるようですので、相談してみてください。

# [4] 高校入試について

受験順番は

① 私立高校 → ② 公立特別選抜 → ③ 公立一般選抜

※公立高校は合格すると辞退できません。

①私立高校入試 2月10日（木）～

②公立特別選抜 2月17日（木）18日（金）とその前後

実技テストや面接をする学科の選抜です。 少数です（全体の約7%）

- ・工芸高校など
- ・美術科 ・体育に関する学科 ・芸能文化科 ・演劇科
- ・総合造形科 ・グローバル探究科 （音楽科は別日程）
- ・エンパワメントスクール ・大阪わかば ・中央高校
- ・能勢分校選抜、日本語指導が必要な生徒選抜 自立支援選抜など

③公立一般選抜 3月9日（水） **（全体の約93%）**

特別選抜以外の全日制・定時制・多部制単位制 通信制

④二次選抜 3月23日（水）

→合格者が定員に満たない学校 面接だけです

# 公立高校の入試のしくみ

合否（合格・不合格）は

①学力検査（当日のテスト）

+

②調査書（中学校で作成）

+

③面接、実技検査など

で決まります。

# ①学力検査について

問題は高校ごとに次の3つの中から決まってます

- A : 基礎的な問題
- B : 標準的な問題
- C : 発展的な問題

受験校を決める  
材料ではない

例

※理科・社会は  
全校同じ問題  
です。

学校名	国語	数学	英語
ア高校	B	B	B
イ高校	C	B	C
ウ高校	B	A	A
工高校	C	C	C

# 一般選抜の学力検査の時間と得点

教科	種類	時間	配点
国語	A(基礎)	50分	90点
	B(標準)		
	C(発展)		
数学	A(基礎)	50分	90点
	B(標準)		
	C(発展)	60分	
英語	A(基礎) + リスニング	40分 + 15分	90点
	B(標準) + リスニング		
	C(発展) + リスニング	30分 + 25分	
理科		40分	90点
社会		40分	90点

450点  
満点

②

## 調査書評定について

### ◆一般選抜 全日制の課程

各教科の評定について

	満点	割合	合計	
中学3年生	5	6	30	1教科満点
中学2年生	5	2	10	
中学1年生	5	2	10	50点

1教科

50点



9教科



450点

# 学力検査+調査書=総合点

## 一般選抜 全日制の課程

たとえば、I タイプの学校は  
学力検査は630点 調査書は270点

学力検査  
(450点)

国語  
社会  
数学  
理科  
英語  
(各90点)

調査書  
(450点)

9教科  
の評定  
各50点

学力検査と調査書の比率は

I の場合	7:3
II の場合	6:4
III の場合	5:5
IV の場合	4:6
V の場合	3:7

総合点  
(900点)

- I 学力検査×1.4  
+調査書×0.6
- II 学力検査×1.2  
+調査書×0.8
- III 学力検査×1.0  
+調査書×1.0
- IV 学力検査×0.8  
+調査書×1.2
- V 学力検査×0.6  
+調査書×1.4

# 一般選抜の合格者決定の方法

総合点(900点)  
の高い方



## 【1】

総合点順に募集人員の110%までを(I)群  
(例) 360人の定員なら396人まで  
397番以降は不合格

(I)群

受験者

合格

合格

(II)群

(ボーダーゾーン)

## 【2】

総合点順に90%までを合格  
(例) 324番まで合格

## 【3】

ボーダーゾーンから 各学校ごとのアドミッションポリシーに合う者を優先的に合格とする

(例) 72名の中から△人合格

## 【4】

残りの人数を、総合点の高い者から順に合格とする  
(例) 36-△ 人合格

# アドミッションポリシーとは

ボーダーゾーン内の生徒のうち

自己申告書及び調査書の「活動／行動の記録」の記載内容により  
自校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を  
総合点の順位に関わらず合格とする。

【アドミッションポリシーの例】…学校ごとに決めています。

- ・ 本校志望の意志が強く、入学後も自ら進んで勉学に励み、学力の向上をめざす生徒
- ・ 学校行事、地域との交流、部活動など、仲間とともに積極的に参加する生徒
- ・ 規則正しい生活ができ、高校生活を前向きに送ろうとする意志を持った生徒
- ・ 国際理解や地域福祉といった特色ある選択科目に関心があり、体験的な学習や研究・発表活動にチャレンジしたい生徒
- ・ 最新の科学・ものづくりに興味・関心があり、理工学系大学等に進学を希望し、高度技術者をめざす意志のある生徒(工学系大学進学専科志望者)
- ・ 世界レベルの研究をけん引するスーパーグローバル大学への進学を希望し、目標達成のため学業に最優先で取り組む覚悟のある生徒

# 自己申告書について

自己申告書のお題は

「あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。

またそれを高校生活でどのように生かしたいと思いますか。  
できるだけ具体的に記述してください。」

- ☆「お題」にしたがって書いてください（自由作文ではない）
- ☆今までの自分を振り返り、これからどう生きるか、高校で何を頑張るのかを考え、整理するつもりで書いてください。
- ☆自分の考えを表現しやすい文体やスタイルで書いてください
- ☆できるだけ、具体的に、わかりやすく書いてください。

ちなみに令和2年度入試で、APで合格した生徒数は全校で合計300人です。

# (5) 最後に

## 目標を定め進路を実現するために

目標を定めるために

高校の情報をしっかり調べてください。

学校パンフレット

説明会 見学会 高校展

咲くナビ（公立高校）など

必ず実際に学校に行ってください

パンフレットや説明会だけではわからないことが  
たくさんあります。生徒の様子、雰囲気・・

# 学校見学会 説明会について

☆公立高校進学フェア オンラインのみ7月20日～  
各学校ごとの説明会や見学会はあり 8月～1月  
定員があるので、早めの申し込みが必要

☆私立高校展 8月13日(金)14日(土)15日(日)  
天満橋OMMビル

☆通信制高校展 11月14日(日)OMMビル

- ・説明会だけでなく、絶対にその学校に行くこと！
- ・ほとんどの学校は個別対応してくれます！

※見学会当日は定員オーバーで参加できなくとも、後日電話で相談してください

- ・1・2年生も参加できます学習のモチベーションUPに！

# 最後に…

- ①高校で伸びる人は「授業を大事にする人」です。  
「塾頼み」の人は高校では伸びません  
安定して継続した家庭学習できる人が伸びます
- ②勝負は進学後や社会に出てからです。  
高校や大学は「通過点」に過ぎません。  
偏差値や見栄だけで高校を選ぶと失敗します。
- ③志望校を決めるのは生徒！（親でも塾でもない）  
「自分の力を発揮できる学校か」が重要です  
  
進路を決めるることは、子どもの声を聴く機会、  
そして、親の思いを伝える大切な機会です。